

古文のルール・古文単語をイッキにクリア



●助詞の省略

(古文) 光源氏、笛吹きたり。

＝光源氏(が)、笛(を)吹きたり。

※よく主格の「が」、目的関係の「を」は省略されるので注意



●「かわいい」の古文単語

・うつくし かわいい

・うたたし かわいい

※「うたたし」と読む

・をかしけなり かわいらしい

・いとけなし 幼い あどけない

・かなしうす かわいがる

●「の」と「が」の懸注意

・「の」①連体修飾 ②主格

・「が」よく連体修飾の「の」の意味になる。

(古文) 光源氏の、大臣が娘と結婚する。

＝光源氏が、大臣の娘と結婚する。

●よく出る「む(ん)」は意志、推量

・意志(うう よう) 主語が一人称

・推量(うだうう) 主語が三人称

(古文) いざ行かん。(やあ、行く)

(古文) けふ雪の降らん。(今日、雪が降る)

●よく出る「へる」「す」「ぬ」は過去・詠嘆

・過去(うした)

・詠嘆(うしたなあ)

(古文) あはれなる山里を訪れす。

(しみみとした趣のある山里を訪れた)

(古文) をかしき紅葉散りす。

(趣のある紅葉が散ったなあ)

●「うろひかれる」の古文単語

・ゆかし 見たい 知りたい 聞きたい

・ころもとなし 気がかりだ 不安だ

・おぼつかなし はっきりしない 不安だ

・あやし 不思議だ 変だ

・おぼゆ (自然に) 思われる 感じられる



●「しみじみ」の古文単語

・あはれなり しみじみとした趣がある

・をかし 趣がある 風流だ

・ありがたし 珍しい めったにない

・いと うみご とつても 非常に

※文脈によつていい意味、悪い意味になる

●よく出る「たり」「たる」「たると」「たると」は完了、存続

・完了(うした うしてしまつた)

・存続(うしてゐる)

(古文) 筒の中に光りたり。

(筒の中に光っている)

(古文) うらひひひひひひたり。

(うしろ回愛らしい様子で座っていた)

●「えず」は「うできなご」

(古文) えもいわずをかしげなるを、

(なんとも言えないほどかわいらしい子を)

●「しゆべす」は「まつたぐさなご」

(古文) 野分とはしゆ知らむ出掛へ。

(台風とは少しも知らずにでかける)

※「べ」「は」「ず」＋「つ」の合体＝なべて



●「え〜まじ」は「〜できなうにちがいなう」
 (古文)と「じろ、流れ星を見るまじ」。

★
 三 (長年の間、流れ星を見ることのできな
 うにちがいなう)

●「え〜まじ」は「〜できなうにちがいなう」

●「え〜まじ」は「〜できなうにちがいなう」

●「え〜まじ」は「〜できなうにちがいなう」

●「え〜まじ」は「〜できなうにちがいなう」

●「え〜まじ」は「〜できなうにちがいなう」

●「え〜まじ」は「〜できなうにちがいなう」

●「え〜まじ」は「〜できなうにちがいなう」



●「已然形+ば」と「未然形+ば」は意味の違い
 を理解しておこう

●已然形↓ドモにつながる形

●未然形↓ズにつながる形

(古文) 雪降れば (雪が降るので)

(古文) 雪降らば (雪が降るならば) 仮定条件

●ちよっとブルーな気分の古文単語

●つれづれなり 退屈だ

●いじょうじし 情けない

●よしなし 仕方がない

●げに 実だ 本当だ

if

●おほす おほしめす お思いになる

●せ給ふ せ給ふ (せたもう) せせたもう

お〜あそはす ※超偉い人に使う

●「寧語は侍の(は)ス」と「候は(そ)ウ」

●はスの ちぢらぶら (たまた)「ちぢらぶら」

です ます じゃます

●謙讓語の古文単語も覚えよう

●申す 聞こゆ 申し上げる おし申し上げる

●つかまつる お仕える いたす

●奉る(たてまつる) 差し上げる おし申上
 げる

●参る 参上する(行くの謙讓語)

●「え〜まじ」は強い意志、強い推量、会話文中では

●帝(みかど) 天皇

●大臣(おとど) 大臣

●はづかし 立派だ 優れている

●心にくし 奥ゆかしい

●おとなし 思慮分別がある

●つきづきし ふさわしい 似つかわしい

●ねんごろなり 熱心だ 丁寧だ 親密だ

●かく こづ

●さ そう そのように

●「べし」は強い意志、強い推量、会話文中では
 「〜べきだ」〜しなさい、〜するとよい、「否定語
 といいしよだ」と「〜できなう」

(古文) あやしき人なるべし

自分の低い人にちがいない

(古文) 我行くべし 私は行くつもりだ

(古文) 恩返すべし 恩を返すべきだ

(古文) やがて休むべし そのまま休むのがよい

(古文) や言ふべし そう言いなさい

(古文) 行くべき道だになし

行くことのできる道はえない

主語が一人称なら意志、三人称なら推量

否神語「い〜しよなう」「〜できなう」

●おはす おわします
 ●のたまふ おっしゃる

おとよになる
 くらめる

●尊敬語の古文単語 ※主語が偉い人
 ●給ふ(「たまひ」)読む(「くまひ」)

●まきらわしい古文単語
 ●おどろく はつと気づく 目を覚ます
 ●ののしる 大声で騒ぐ
 ●まもる じっと見つめる 見守る
 ●ちがて すべて そのまま

